

藤子不二雄の初期別冊 (1952-1959.2)

年	月	冊数	※「少女」は光文社、「小3」は小学館、 その他は講談社	講談社				月	年	
				少年ク	1957 に新小1の たの○	1956 に新小1の たの○	1955 に新小1の たの○			
52	12	1	その他雑誌と 連載作の別冊	秋田書店 漫画王	少年ク	1957 に新小1の たの○	1956 に新小1の たの○	1955 に新小1の たの○	12	52
<p>「1959年3月号までの別冊付録すべて」と 「読切の一部」を掲載。</p> <p>※連載は『どんぐりくん』のみを掲載。</p>										
54	9	0							9	54
	10	0							10	
	11	0							11	
	12	0							12	
55	1	1	(g)バラとゆびわ(少女ク)	(a)どんぐりくん*(連載)					1	55
	2	0		(a)長助丸助とんち捕物くらべ*					2	
	3	0		(a)牛若丸とべんけい*(1コマ)					3	
	4	0							4	
	5	1	3	おやゆびひめ(幼ク)	(a)どんぐりくん*(連載終了)				5	
	6	0	0						6	
	7	1	3						7	
	8	0	0						8	
	9	0	0						9	
	10	0	0						10	
	11	0	0						11	
	12	0	0						12	
56	1	0		おとぎの国のおみそか(漫景)					1	56
	2	0		(af複数作品)					2	
	3	0							3	
	4	0							4	
	5	1	8	光公子(別冊版/少女)	(a)ある日の小次郎と武蔵*				5	
	6	1	0		竹光一刀流				6	
	7	1	9	(a)チビわかまる*(幼ク)					7	
	8	5	0	■(a)ロケットくん(ぼくら)		(a)白馬の王者*			8	
	9	1	0		山びこ剣士				9	
	10	0	0						10	
	11	1	0	■(a)ロケットくん					11	
	12	0	0						12	
57	1	1	■(a)ロケットくん	幽霊ロケット	(a)奇巖城*				1	57
	2	2							2	
	3	1	3	雲の中のミカド(少女)					3	
	4	1	0	■しゃっくり丸(幼ク)					4	
	5	5	19	■(a)ロケットくん	海の快剣士	(a)第十番惑星			5	
	6	2	0	■(a)ロケットくん					6	
	7	0	0		白魔洞の怪人				7	
	8	2	0						8	
	9	1	0	■しゃっくり丸	(g)火の玉剣士*				9	
	10	2	0			(a)巨人の復讐			10	
	11	2	0	(a)火星ダイヤ/(a)まんが大学*(幼ク)	電光豆剣士				11	
	12	2	0						12	
58	1	1	■(a)わが名はXくん(幼ク)	人工衛星アパート(漫景)					1	58
	2	2	0		宇宙冒険児				2	
	3	2	0						3	
	4	2	0						4	
	5	2	0		かげろう剣士				5	
	6	0	0						6	
	7	0	0						7	
	8	1	0		(g)火星から来た少年*				8	
	9	2	0	■(a)どんぐり名探偵*(日の丸)	宝さがし武勇伝				9	
	10	5	0		(g)恐怖のウラン島				10	
	11	2	0	(a)はやぶさ号西へ行く(小3)					11	
	12	2	0						12	
59	1	1	■(a)どんぐり名探偵*						1	59
	2	1	3		あのロボットをうて				2	
	3	1	2	■(a)どんぐり名探偵*					3	

【凡例】

- ・白字は別冊 藤本担当 (a)安孫子担当 (g)合作
- ・■は連載作の別冊
- ・グレー字は通常の読切または連載
- ・末尾に*があるものは単行本未収録作

※以前は藤子作品なし
少年クラブ

※以前は藤子作品なし
↓たの1創刊(同名の絵本シリーズが月刊雑誌化)
なかないさぶちゃん* ※別冊だが6p
ぼちのおつかい ※別冊だが3p

たの1 1
たの2 2
たの3 3
たの4 4
たの5 5
たの6 6
たの7 7
たの8 8
たの9 9
たの10 10
たの11 11
たの12 12

↑ ■は連載作の別冊
↑ 赤字は1月号を前年発売として数えたもの ※59年の年冊数は3月号までのもの

↑ (a)『どんぐりくん』終了後は別冊を多数執筆も連載はなし。『まんが王』に誌名変更後の連載は(a)『スリーZメン』(1964)、『ペラポー』(1968)

↑ すべて他者作品をもとにした漫画

↑ 『ふしぎなほしの〜』以外の別冊は他者作品をもとにした漫画

↑ たの○の中でこの列の別冊のみすべて安孫子担当

↑ 『カロール』以外は他者作品をもとにした漫画